

# 陸奥国の宗教と遺跡

平泉町役場 八重樫忠郎

## はじめに

北東北の宗教の素地には、豊かな自然を背景とした縄文時代以来の狩猟採集生活がある。すなわち、自然に対する畏敬の念が、非常に強い地域といえる。  
「シャーマニズム」 「サケは銚子かぎり」

## 1. 仏教の進出

岩手県奥州市の黒石寺には、年号があるものとしては、日本最古の薬師如来坐像がある。⇒年号を発見した昭和25年には、後世の偽作と考えられていたが、のちに証明される。貞観4（862）年銘。

多賀城の造営によって、官衙附属寺院が設けられるなど、仏教が東北地方に進出した結果として、これらの仏像が残された。

また10世紀後半になると、岩手県花巻市成島毘沙門堂に残された兜跋毘沙門天立像のように、京都とは異なる作風の仏像が造られるようになる。⇒京都文化が消化吸収され、東北的な仏教へと変化していく。



黒石寺薬師如来坐像

## 2. 寺院跡

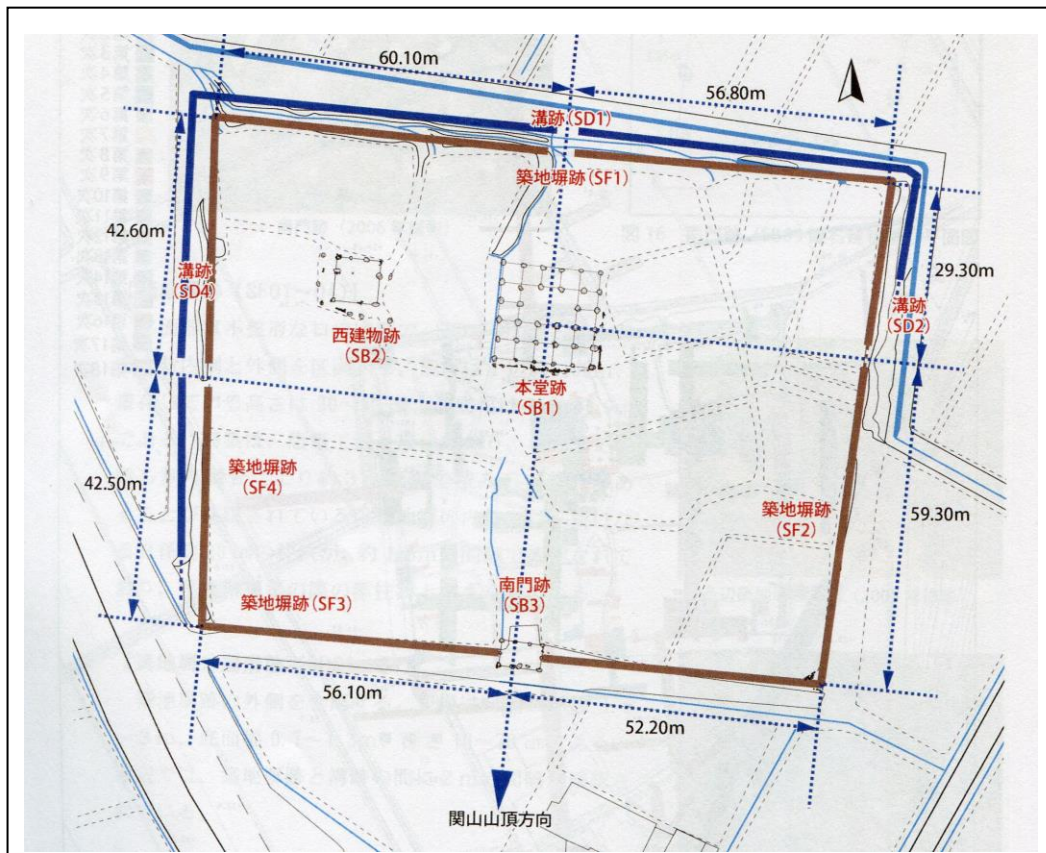
岩手県北上市の国見山廃寺跡や大竹廃寺跡、奥州市の長者ヶ原廃寺跡、一関市の泥田廃寺跡などの遺跡が残っている。これらの廃寺跡は、安倍氏や清原氏が活躍した奥六郡に集中する傾向がある。また同地域内には、10世紀後半から12世紀の多数の仏像が残されている。

これらは、まつろわぬ民といわれた蝦夷政策として、仏教が意図的に持ち込まれたことを暗示している。抵抗が激しかった蝦夷を変えるためには、根幹である精神性を変化させる必要があった。

官衙と共に仏教が持ち込まれた背景⇒軍事力による肉体の支配  
仏教による精神の支配



国見山廃寺跡七間堂跡



長者ヶ原廃寺跡



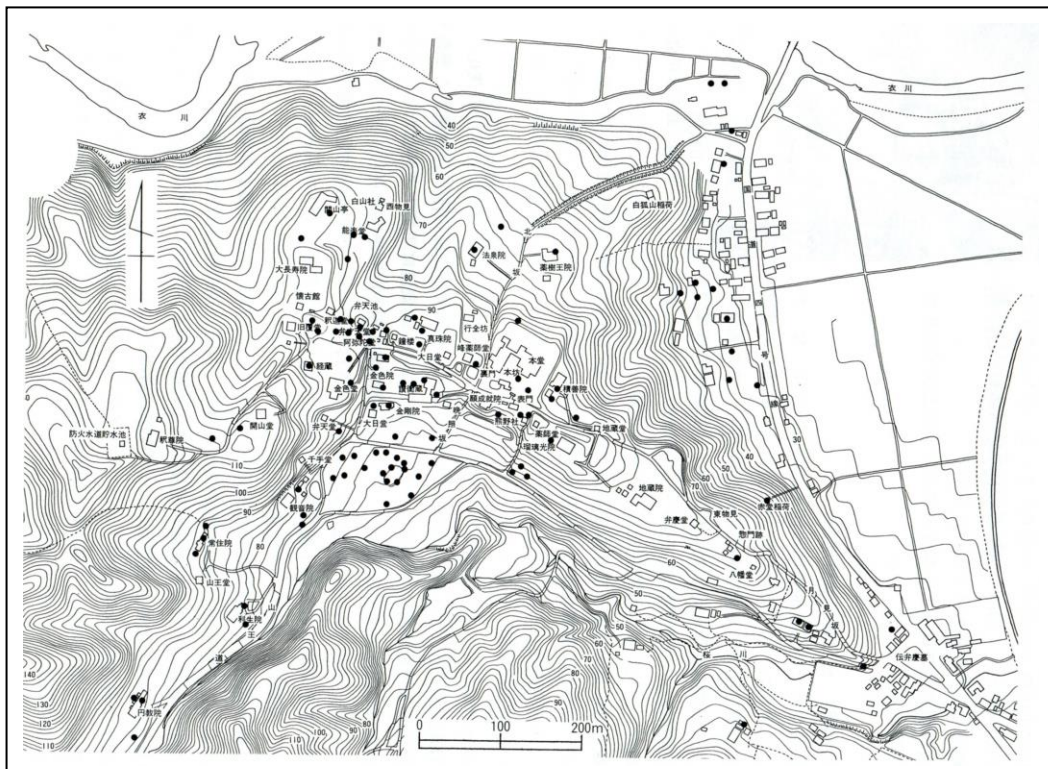
### 3. 中尊寺

平泉藤原氏初代清衡が、陸奥国の中心に造営した寺院。近年の研究によって、中尊寺以前から寺院があった可能性が指摘されている。

山頂に1基塔⇒二階大堂（現在の能舞台の平場）⇒金色堂⇒供養願文伽藍（大池跡）の順番で造営されて行った。高位から低位に向かって寺院が造られていることから、計画的な配置といえる。

また中尊寺は、北側からしか見えないという立地も重要な示唆を与える。

遺跡としては確認できないが、『吾妻鏡』によれば、「釈迦・多宝如来」を配したとあるので、法華経の理念に基づいて建立された寺院。



中尊寺調査区位置図

### 4. 中尊寺から平泉へ

初期の平泉は、政治の拠点である平泉館（柳之御所遺跡）と中尊寺しかなかった。しかし手工業者や武士たちが集住するにつれて、都市化が進む。それに伴い、毛越寺や無量光院といった京都市的な寺院が設けられるようになっていく。

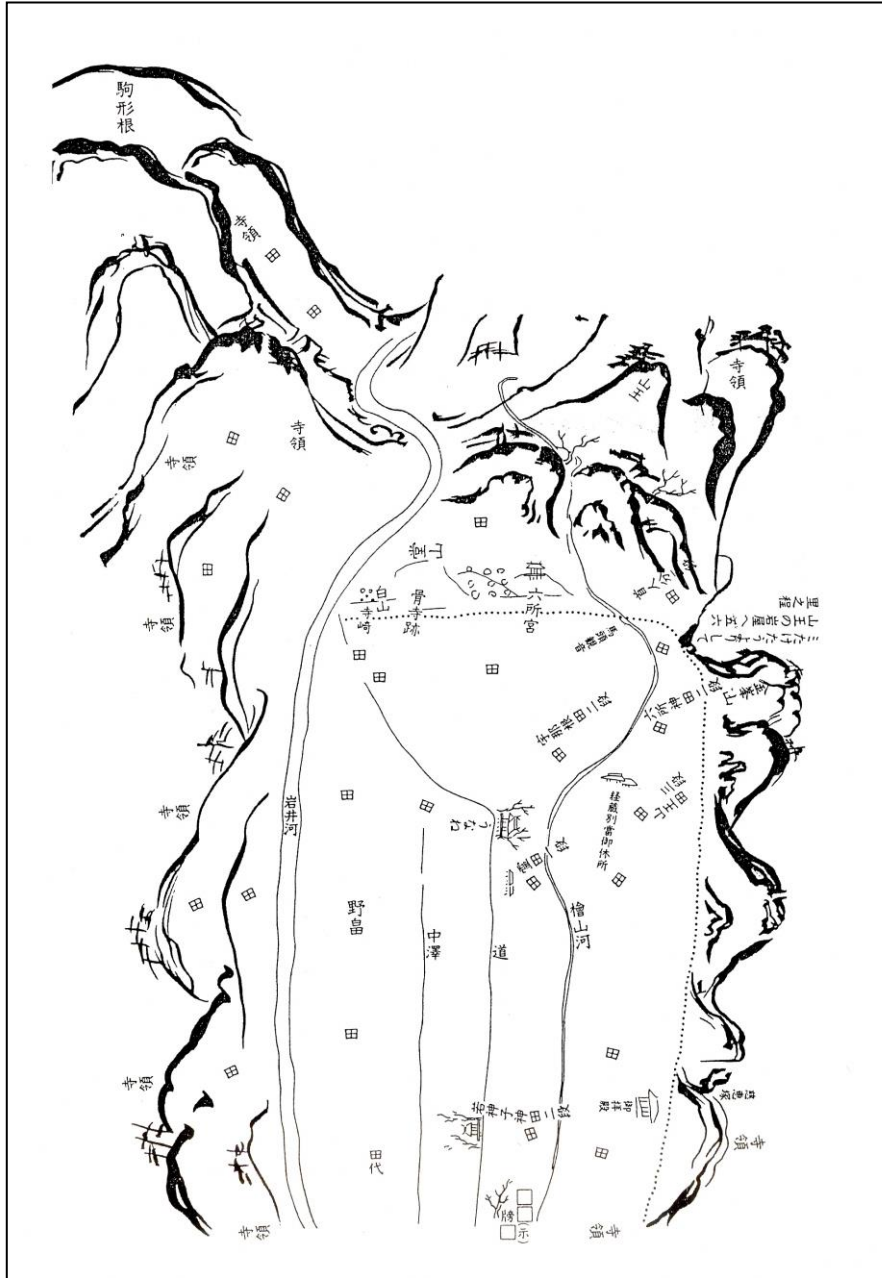
毛越寺は、中尊寺をしのぐ規模の大寺院であり、「吾朝無双」と称されたが、その立地は中尊寺とは異なり、南の方向を向いている。

無量光院は、宇治平等院の中の鳳凰堂のみを写した寺院であり、平泉藤原氏三代秀衡が極楽往生するためのものであった。

このように平泉の寺院の変遷は、平泉藤原氏の成長とリンクしている。そしてその様相は、摂関家藤原氏とも類似していく。

## 5. 骨寺村莊園絵図

中尊寺の莊園である骨寺村の絵図が、2点残されている。都市部の宗教のあり方を示すのが平泉だとすれば、村の様相が分かるのが骨寺村莊園絵図。



骨寺村莊園絵図

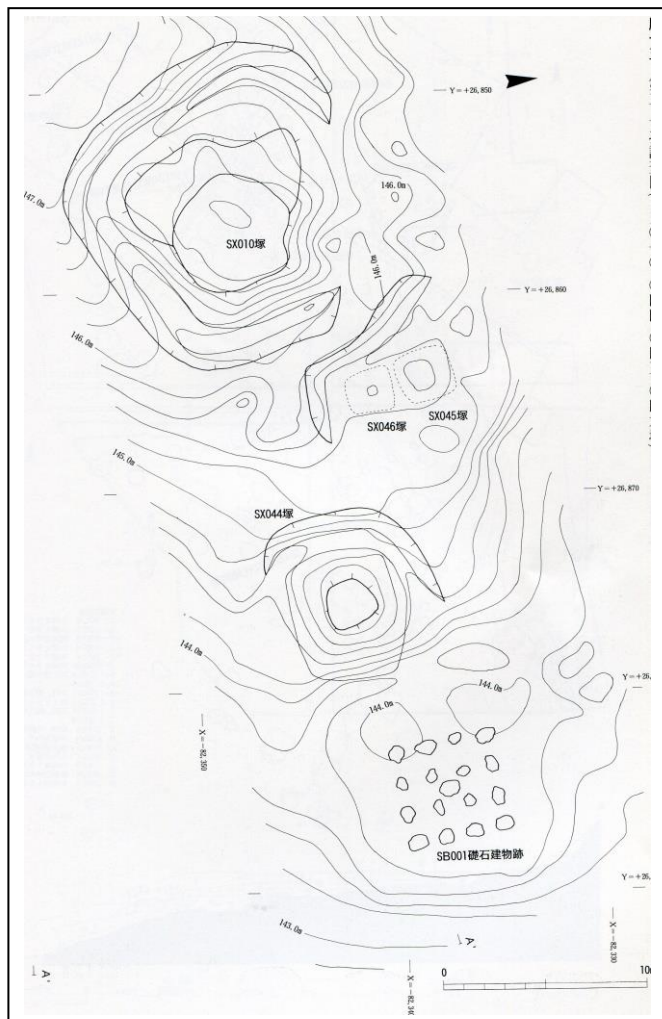
## 6. 経塚

釈迦が入滅して、正法、像法の時代を過ぎ、末法の世（1052年）に入ると、仏の教えさえも滅亡してしまうと考えられていた。しかし56億7千万年後には、弥勒菩薩が地上に降り、再び人々を救済するという。その時まで、経典を保管する施設が、経塚であった。

京都の経塚は、地面に穴を掘って、経典を埋めているが、北東北の経塚の多くは、巨大な塚を造ったのちに、その頂部に経典を埋めている。つまり京都の経塚は、地下に経典があるが、北東北の経塚は、空中に経典が納められている。

そのような意味からは、北東北の経塚は、塔と類似した意味相を有する可能性が高い。

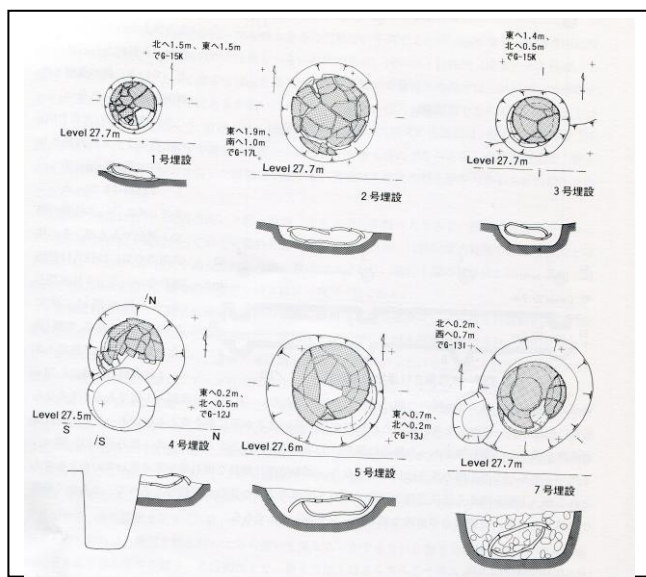
右の図は、10世紀代に国見山廃寺跡に設けられた塔がなくなった後に、経塚が造られている例。塔と経塚が密接な関係を持っていたことをうかがわせる重要な事例。



国見山廃寺跡の経塚

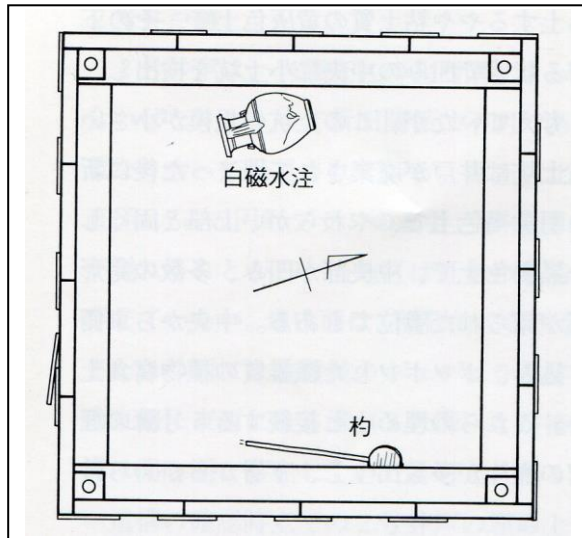
## 7. 地鎮や井戸鎮め

宗教的な遺構としては、地の神を鎮めた地鎮の跡と考えられるものや、井戸の神を鎮めたものなどがある。



平泉宿遺跡の地鎮遺構

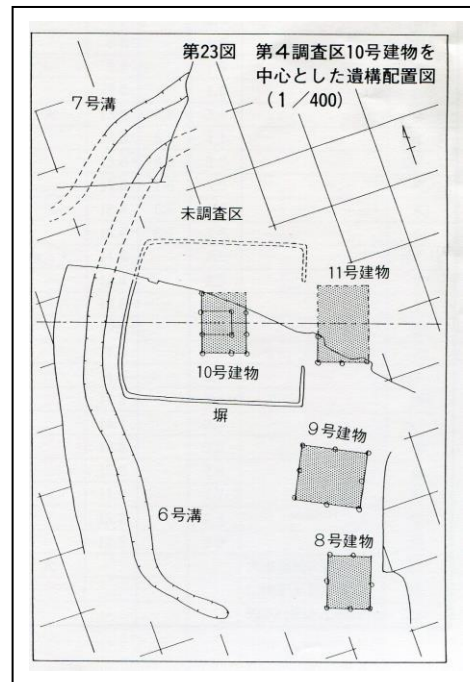




平泉志羅山遺跡の井戸鎮め

## 8. 神社と考えられる遺構

### 平泉衣関遺跡の神社関連遺構



## 9. まとめ

官衙によって持ち込まれた仏教は、安倍氏、清原氏、平泉藤原氏によって、咀嚼され北東北特有の形に変化していった。この様相は、日本列島が首都京都から発せられた単色ではなかったことを示している。

## おわりに

北東北で形を変えた宗教は、鎌倉幕府に吸収されていった。平等院からスタートするいわゆる浄土庭園が、関東から東北地方に多いことがその証左。